

調査の概要

1. 調査テーマ

年少児から小学校2年生をもつ家庭での育児生活の実態、およびしつけや教育に関する母親の意識、また、母親自身の活動状況

- ① 育児不安と育児情報源、育児規範、育児の楽しさ、母性意識など
- ② 子どものしつけ・教育観、子どもの生活習慣と自立度など
- ③ しつけ・教育に関する園や学校と家庭との役割意識
- ④ 子どもの将来や進学への期待、習い事の実態
- ⑤ 母親自身の現在と今後の活動、母親の対人関係
- ⑥ 夫との対話・理解度、現在の生活の満足度など

2. 調査時期

1997年9月～10月

3. 調査対象

幼児（1991年4月2日～1994年4月1日生まれ）と小学校1、2年生をもつ保護者

4. 調査地域

東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

5. 調査方法と標本数

方法：任意郵送法

配布数：21,000通 ※1
回収数：4,766通 回収率：22.7%

学 年	年少児 ※2	年中児 ※2	年長児 ※2	小1生	小2生	非通園 ※3	不明
回収数 (%)	641 (13.9%)	955 (20.7%)	879 (19.1%)	863 (18.7%)	831 (18.0%)	438 (9.5%)	6 (0.1%)

※1 調査対象の保護者のうち、母親が4,613人(96.8%)で、その他、父親や祖父母などが153人(3.2%)であった。本報告書では母親のみを分析対象とした。

※2 本報告書では、学年の呼称を、「年少児、年中児、年長児、小1生、小2生」と省略した。その内訳は、

年少児：幼稚園年少児クラスと保育園3歳児クラス

年中児：幼稚園年中児クラスと保育園4歳児クラス

年長児：幼稚園年長児クラスと保育園5歳児クラス

※3 非通園児・不明は、学年別の分析では対象外とした。